



2017

第8号

## 平成29年度地域リハビリテーション推進研修開講中！

**今後の研修予定を、一部ですが紹介します！ 受講者募集中！！**

- ☑ 9月7日「障害のある方への就労支援」
  - ・戸田 則子氏「地域における就労支援の実際と課題について」
  - ・杉山 昭夫氏・加茂 雅康氏・小島 紀子氏「総合的な就労支援について」
  - ・吉岡 隆氏「企業の障害者雇用について」
- ☑ 9月26日 出島 直氏 「医療的ケアの緊急対応とリスクマネジメント」
- ☑ 9月27日 香月 晶氏 「精神障害について（総論）」
 

統合失調症，うつ病，依存症，神経症などの精神疾患に関する基本的な知識やケアについて
- ☑ 9月27日 香月 晶氏・中道 卓哉氏「気分障害の方の就労に向けた支援の実際」
 

就労支援デイケアの取組から，気分障害（うつ・躁うつ病）の方への支援の実際について

6月から開講しており，たくさんの方に受講していただいています！

### センターの専門職による実習もしています！



お互いに負担のない移動方法の体験中



実際のトイレの場面で介助法を学びます

### これまでの研修で、こんなお話をいただきました

☑「ソーシャルワーク概論と援助技術について」 福富 昌城 氏

ソーシャルワークの機能として，既存の制度の枠の中で，制度を運用する「相談援助」だけでなく，制度からこぼれ落ちる人たちを視野に入れ，支える側の体制を整えて行く働きが求められている。

☑「相談援助における面接の基本姿勢」 浅野 衣子 氏

相談はコミュニケーションを通して実施されるが，コミュニケーションの意味と機能を理解すること，そして自己理解することが大切。

☑「介護予防・日常生活支援総合事業について」 源野 勝敏 氏

☑「地域包括ケア総合事業とその移行について」 橋本 武也 氏

今後の介護保険をとりまく状況を踏まえ，地域包括ケアシステムをどう構築していくのか。

☑「障がい当事者が伝える感謝と本音～要介護だった私が支援者に伝えたいこと～」 葉山 靖明 氏

ケアの本質は上手なケアでなく自立支援であること，「楽」より「喜」を目標とし，「心が動けば体も動く」。その方の生き様を知り，理解し，本人がやりたいことを補助することが大切。

☆第6回☆  
地域ガエルの  
おしごと拝見！

# 京都市高次脳機能障害者支援センター

京都市高次脳機能障害者支援センター（京都市地域リハビリテーション推進センター1階相談課）では、高次脳機能障害のある方の専門相談事業の一環として、就労に関する相談や支援を行っています。今回は3つの働き方をご紹介します。

## 第2回目 いろいろな働き方と就労支援に関わる機関について

1

### 【福祉的就労（障害者福祉サービス）】 障害を伝えて働く（1）

#### (1) 就労移行支援事業

2年以内に一般就労への移行を目指して、就職に必要な知識の習得や実習を行います。

#### (2) 就労継続支援事業A型（雇用型）

#### (3) 就労継続支援事業B型（非雇用型）

一般企業での就労が困難な場合に働く場所を提供し、就労に必要な知識や能力向上のための支援を行います。

各事業所により、仕事やプログラムの内容、賃金（工賃）の有無などが異なるため、その方の得意な作業を検討の上、事業所見学や体験を経て、利用します。

※前年度の所得に応じてサービス利用料がかかる場合があります。

#### 【福祉的就労の例】

20代の女性、自分では「もう良くなった、フルタイムで働ける」と言われますが、作業体験プログラム（リハエール第2号参照！）では、指示されたことを忘れていたり、ミスが多い状況でした。またミスを指摘されるとイライラしやすく、職場での対人関係も課題になりそうなため、障害年金を受給しながら、福祉的就労のステップを踏むことを勧めました。いくつかの事業所見学や体験を経て、就労移行支援事業所の利用を決定。同事業所では、他の利用者とともに、就労に向けて職場マナーの受講や作業実習に取り組んでおられます。

2

### 【一般就労：障害者雇用】 障害を伝えて働く（2）

障害を伝えた上で、一般企業等に就労する働き方。一定の就労能力と安定して勤務できることが必要になり、週に20～30時間以上の求人が多いです。

自分の適性に合った仕事が見つかるまでに時間がかかる場合もありますが、合理的配慮が得られ障害者就労の様々な支援を受けることができ、通院日の配慮や、就労時間の調整、不調時の相談等のサポートが得やすい等の利点があります。

相談窓口は、ハローワーク、障害者職業センター、京都ジョブパーク、就業・生活支援センター等があります。

#### 【復職の例】

休職中で復職希望の50代男性、作業体験プログラムでは、自分でメモをとったり、わからないことを確認するなどの工夫はとれるようになりましたが、作業スピードがやや遅いことや持久力が心配でした。障害者職業センターの3か月間の職業準備支援を利用し、就労における課題の整理と対策を行い、一定の持久力改善が図れました。職場に復職するタイミングや配慮を調整し、最初の1か月は短時間勤務で様子を見て、その後フルタイム勤務で復職ができました。

3

### 【一般就労：一般雇用】 障害を伝えずに働く

障害を伝えずに、一般企業等に就労する働き方。求人の数は多いかもしれませんが、障害に対する配慮は得られないため、就労定着が難しい場合もあります。

#### 【障害者雇用の例】

30代男性、B型事業所利用からのステップアップを希望。作業体験プログラムでは、同時にいくつかの注意を向ける作業は苦手だが、目の前のことに集中し丁寧に取り組む作業は得意ということや、就労の適性があることを確認できました。京都ジョブパークの障害相談部門で、就労における課題と対策の整理、履歴書の書き方等の相談と、いくつか職場実習を経験し、自己理解を深めました。その後、企業の障害者雇用枠で採用され、週25時間程度の就労をされています。



当センターでは、医療機関や就労支援機関等と連携の上、

- ・面接や作業体験プログラムの提供
- ・就労に関する課題の整理や工夫の提案
- ・事業所見学同行や職場との調整 等を支援します。

就労に関する相談機関や福祉的就労の事業所情報等については、  
「京都市障害者就労支援推進会議 はたらきまひよ」のHPもご参照くださいね。

## 研修のお知らせ

※すべて参加費無料、申込が必要です

詳細は高次脳機能障害者支援センターホームページを参照

<http://koujinoukinou-city-kyoto.jp>

### 高次脳機能障害 入門講座

	前期	後期	テーマ
1	4/24	10/20	発症からのステップ～社会参加に向けて～
2	5/29	11/17	注意障害・記憶障害・遂行機能障害について
3	6/26	12/15	社会的行動障害について
4	7/21	1/19	失語症について
5	8/18	2/16	就労に向けて
6	9/15	3/16	当事者・家族からの声、関連事業所等紹介

こんな方に  
オススメ!

- 高次脳機能障害と言われたが、詳しい説明は聞いていない。今後の見通しや各障害への対処法、利用できる制度など知りたい
- 支援にあたり、基礎的な理解を深めたい
- 他の方がどのように対応しているのか、参考にしたい
- いつ誰におこるかわからない身近な障害。知識として学んでおきたい 等

### 専門研修(支援スタッフ対象)

【テーマ】高次脳機能障害のある人の地域支援  
～生活を支える基本と社会的行動障害への対応～

【日時】平成29年10月2日(月) 10:00～16:40  
【会場】京都労働者総合会館 ラポール京都 2階大ホール  
【講師】名古屋市総合リハビリテーションセンター医師等  
【研修内容】  
午前の部：高次脳機能障害とは／障害の疑似体験  
午後の部：生活上の課題と対応／社会的行動障害とその対応  
【対象者】市内の障害福祉や介護福祉、医療機関、  
就労関係機関、行政機関等の支援スタッフ  
【定員】先着80名(定員に達し次第、締切)

こんな方に  
オススメ!

- 高次脳機能障害についての理解を深めたい
- 家庭生活支援において、どのような工夫や対応がよいか知りたい
- 障害により怒りっぽい方(易怒性)への対応に困っている
- 福祉や介護の現場で活かせる知識やスキルを広げたい
- あの名古屋市総合リハビリテーションセンターから学びたい 等

●2回にわたって高次脳機能障害の方の就労支援についてご紹介しましたが、いかがでしたか?

就労に関することやそうでないことも、高次脳機能障害に関するご相談、研修のお問合せは、当センターまで(京都市内の方が対象です)。

京都市高次脳機能障害支援センター専門相談ダイヤル 075-823-1658

<受付時間>月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く8:30～12:00及び13:00～16:00)



## 歯の健康について学びました！IN 支援施設(7月18日)



毎日、あまり意識せずに行っている歯みがき。京都府歯科保険医協会を通じて、あすかい診療所歯科の林歯科衛生士をお招きし、歯の健康を保つブラッシングのコツや口腔ケアについて、利用者の方とご家族に、わかりやすくお話をさせていただきました。

チェック  
してみよう!



- 定期的に歯医者さんで口腔チェックをしてもらうべし
- 歯みがきは1日4回がベスト！せめて寝る前だけでもしっかりみがくべし
- 食後の歯みがきは、唾液の出始める30分後にとすると、なおよし
- 歯に当てる歯ブラシの角度は45度！
- 「歯と歯のあいだ」「歯と歯ぐきの境目」を、しっかりみがくべし
- 歯ぐきがやせて知覚過敏にならないように、やさしく小刻みにブラッシングするべし
- 下の歯をみがく時は鏡を活用するべし。歯石のつきやすい前歯の裏もよ～く見えます！

## 壁面かざりで華やかに！IN 支援施設

施設のプログラムの一つとして、壁面かざりを制作しています。テーマを決めたら、雑談しながら連想されるものや思い出などをピックアップして、構図を考えます。さて今回のテーマは…七夕！

なんだかさびしくない？



完成！折り紙の飾り切りをした、天の川がセンスいいでしょ？



短冊は2つ！  
(彦星と織姫)

この場所に星をはろうかな



そうだ、星をつくろう！  
カラフルになるね★

細かい作業に皆さん集中しています

完成した作品は、7月7日の朝礼でお披露目されました！七夕当日はあいにくの雨模様でしたが、みなさんの力作のおかげでステキな七夕を迎えることができました。次の作品も楽しみにしています★

## からだの動きに障害のある方の「秋の体力測定会&からだの相談会」

募集中!

平成29年9月12日(火)午後1:30~3:30

10月11日(水)午後1:30~3:30 ※両日とも申込みが必要です

体力は疾病や加齢によって低下するので、ご自身の体力を把握して維持することが必要です。センターでは、障害のある方に安心して参加していただけるよう多くのリハビリ専門職が測定しています。

からだの相談会では、からだの動きに関する相談だけでなく、骨密度や体脂肪率を測定したり、医師や管理栄養士などと日々の生活の工夫などの相談ができます。詳細はチラシを御覧ください。



【リハエール】第8号 2017年8月発行  
発行 京都市地域リハビリテーション推進センター  
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地  
電話 075(823)1650(代表)  
FAX 075(842)1545  
Eメール rehabili@city.kyoto.lg.jp  
京都市印刷物 第294418号

★編集後記★ 暑い日が続きますね、さて今回は前回に引き続き、高次脳機能障害者支援センターの活動をご紹介しました。そして歯みがき、あなどることなかれ!! 冷たい飲み物がしみる知覚過敏気味のワタシ、早速、小刻みなブラッシングを実践中です!

京都市地域リハ